

大和市生活支援・介護予防サービス第1層協議体 令和8年度第1回会議 議事録

日 時：令和8年4月30日（木）午前10時30分～午前11時40分

場 所：大和市保健福祉センター 5階 501会議室

出席者：委員9名（欠席なし） 支援組織3名 あんしん福祉部長 関係各課3名
事務局3名 第1層コーディネーター2名 （その他：傍聴者3名）

配布資料

- ・ 大和市生活支援・介護予防サービス第1層協議体委員名簿
- ・ 大和市生活支援・介護予防サービス第1層協議体委員席次
- ・ 資料1 令和7年度の大和市における第2層協議体の活動状況等について
- ・ 資料2-1 令和7年度の取り組み状況について（第1層協議体関係）
- ・ 資料2-2 令和7年度生活支援コーディネーター研修（第2層協議体の支援）の概要
- ・ 資料2-3 中央林間地区よりそい協議体設立（設立経緯）
- ・ 資料3 令和8年度の活動方針および予定

会議次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題
 - (1) 令和7年度大和市における第2層協議体の活動状況等について・・・資料1
 - (2) 令和7年度の取り組み状況について・・・資料2-1・2-2・2-3
 - (3) 令和8年度の活動方針および予定・・・資料3
 - (4) その他
4. 閉会

会議内容

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題
 - 会 長：それでは、本日の議題の1番目、「令和7年度の大和市における第2層協議体の活動状況等について」事務局から説明をお願いします。
 - ◆資料1 令和7年度の大和市における第2層協議体の活動状況等について、に沿って事務局から報告。
 - 会 長：事務局から、第2層協議体の活動状況等について報告がありましたが、何かご質問やご意見はありますか。
 - 【質疑】
 - 会 長：私から1点、相談内容や支援内容について、大和市全体での内容による割合といったものはあるのか。協議体が早くできたところと新たにできたところに参考になるとしたら、変化があるのか、地域差があるのか、おそらく高齢化率の高いとか、買い物に行きにくい地域であるとか、で

あろうと思うが、分かってくると参考になる。それから、南林間、つきみ野、中央などは1日の来所者が2桁となっているが、下鶴間や上草柳などは1桁である。その違いには理由があるのか、教えてもらいたい。

事務局：一つ目については、各協議体の総会資料で分析は可能ではある。地域差というところでは高齢化率や買い物に行きやすいということはあるが、ただ、各協議体自らが地域の中でテーマを持って発信をしているので、そのテーマの中で何をしていくかを選択して、目的を定めて活動している。例えば、南林間では個別支援を重点に行っているの、草取りや家事援助などの件数が多くなっている。一方、福田北では、相談支援に特化しており、相談を受けた上で地区社協と連携して、家事支援などをお願いして処理をしていくといった対応をしている。課題がいろいろとある中で、何に力点を置いているかによって実績は変わってくる。また、下鶴間は、二点目にもかかわるが、地理的に駅に近いわけではなく、人が多く来るということではないので、地域の中で、介護予防等の皆さんが取り組みやすい課題を取り上げて、拠点に来てもらうイベント的な活動を展開している。各地区で何をするかということにより差が生じている状況である。おっしゃるところの家事支援や買い物支援といったところは、どの地区も課題を抱えているところでもあり、スーパーが近くにある、ないといった視点も持ちながら分析していきたいと考えている。

二番目について、「協議体」というものを知ってもらう、認知してもらうことが何処の地域でも課題となっているところである。南林間やつきみ野、中央についても最初のころは、人に認知してもらうことに苦労していたと聞いている。先ほどの下鶴間は、地理的關係から拠点のPRが難しいため活動でPRして認知してもらうということである。上草柳、桜丘は、活動や相談を受け付けしてという中で、丁度、地域に認知してもらっているところである。

会長：各地区協議体がそれぞれの特色に合った活動をしているという説明がありました。他にはいかがか。

<特になし>

会長：ご理解いただいたということで、次の議題「令和7年度の取り組み状況について」事務局から説明してください。

◆資料2-1、令和7年度の取り組み状況について事務局から説明。研修の説明については市社協に引き継ぐ。

会長：それでは続けて、市社協の江原課長から「令和7年度に実施した研修について」説明をお願いします。

市社協：資料2-2をご覧ください。こちらの研修は大和市社会福祉協議会が令和元年から大和市の委託を受けて実施しているものである。表の通り、1回目が「拠点におじゃまツアー」、2回目が座学による講義という形式で実施した。このスタイルは令和4年度から行っており、今回の「拠点におじゃまツアー」は11月19日、7か所目の拠点「さくらサポ」におじゃまして活用の仕方や運営方法について説明を受けた後に、会場を

桜ヶ丘自治会館に移し、各地区協議体それぞれが抱える課題について、意見交換を行った。主なものとして、「拠点の周知の仕方」や「来所者への保険をどうしたら良いか」とか、「運営の担い手をどのように確保していけば良いか」などの意見があがっていた。2回目については、1月29日、駒澤大学の川上教授にお越しいただき、「住民主体の第2層協議体に求められる役割と取組について」ということでの講演をしていただいた。今回は、コーディネーターだけではなく、役員の方を含めての講習会という形で行い、第1層の委員の皆様にもご参加いただいたが、「住民活動の燃料は共感原理によるものである」などと、いろいろとお話をいただき、「大変参考になる分かりやすいお話であった」との感想を受けたところである。

会長：ありがとうございました。引き続き「中央林間地区における協議体設立の経緯について」説明をお願いします。

◆資料2-3 中央林間地区における協議体設立の経緯について、を事務局から報告。

会長：ただいま事務局から「中央林間地区よりそい協議体」の設立経緯の報告がありましたが、活動に関わっている委員、中央林間地域包括支援センターから、補足説明などありましたらお願いできますか。

委員：特に補足はない。ただいま事務局から説明していただいた通りである。やっとできたんだという感想で、実際に話を始めてから丸4年程かかったが、良い形で進んでいると思っている。

地域包括：設立に向けて風向きが変わったと思ったのは、以前「ぷらっと中央林間」があり、ポラリスができたことにより閉じたが、勉強会の中で、「高齢者が集まれる」そういった場所が、改めてあるといいねということの話があつて、協議体があつた方がいいという流れになったかと思う。他の地域でもそれが一つのきっかけになれば動いていく可能性があるのではないかと考える。

会長：ありがとうございました。「令和7年度の取り組み状況について」何かご質問・ご意見はありますか。

【質疑】

<特になし>

会長：ないようですので、次の議題の3番目「令和8年度の活動方針および予定について」事務局から説明してください。

◆資料3 令和8年度の活動方針および予定について、を事務局から説明。

会長：ありがとうございました。「令和8年度の活動方針および予定について」説明がありました。皆さんから何かご質問やご意見等がありますか。

【質疑】

<特になし>

会長：ご意見等がないようですので、議題の4番目「その他」に移ります。事務局から何かありますか。

事務局：皆様、本日はお忙しい中をご出席いただき、ありがとうございました。

先ほど、取り組み方針の中でもご説明させていただいた通り、全体会に関しては、本日の会議を位置づけさせていただきたいと思う。今後、新たな課題等が発生し、皆さまのご意見、ご審議が必要と事務局が考えた場合には、開催について調整をさせていただく。今後も引き続き委員の皆様には、関係団体の会議、会合などの機会をとらえ、協議体についてのお話をいただき、立ち上げ等についてご協力をお願いしたい。

会 長：委員の皆さんから何かございますか。ないようですので、会議の終わりにあたり、職務代理から閉会の挨拶をお願いします。

職 務 代 理：本日は、連休のはざままで、皆さま方、お忙しい中をご出席いただき、ありがとうございました。8地区の各協議体内容について詳細に説明を受けた。私の地域はまだ設立できていないが、今、少しずつ準備を進めているところである。このような情報をもとに、そして周知の情報をもう一度考えながら、未設置の地区については努力をしてもらい、オール大和が全て設置できるように、既設の地域の皆さんには、いろいろな方面からご協力をお願いしたいと思う。この第1層協議体、第2層協議体が、発展した組織としてスムーズに運営されていくことを祈念して、閉会の挨拶とさせていただきます。